

授業科目 評価学演習Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学
古西 勇、小林 量作、亀尾 徹、 古沢 アドリアネ 明美、粟生田 博子 他		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	60（基本評価A：20）
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	○	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
専門基礎分野で修得したことを基礎として、各種検査測定法の応用に慣れ、代表的な領域（骨関節疾患や中枢神経障害など）を想定した検査測定評価の「思考」と「技術」を修得する。					
【学習目標】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者さんへの配慮、全身状態・局所所見の把握の流れを模倣する。 2. バイタルサイン測定の手順に慣れる。 3. 形態測定、関節可動域測定、神経診察、バランス検査の手順に慣れる。 4. 医療記録を模倣する。 5. 学生間で学びあひながら自主的、計画的に共同作業に取り組む。 6. 疾患別の評価への応用を模倣する。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	患者さんへの配慮、全身状態・局所所見			1, 4, 5	演習（グループ）、担当：粟生田 博子
2	バイタルサイン測定			2, 4, 5	演習（グループ）、担当：粟生田 博子
3	ランドマークの触診、形態測定			3, 4, 5	演習（グループ）、担当：古西 勇
4	反射検査			3, 4, 5	演習（グループ）、担当：古西 勇
5	感覚検査			3, 4, 5	演習（グループ）、担当：古西 勇
6	脳神経の各検査			3, 4, 5	演習（グループ）、担当：古西 勇
7	関節可動域測定（ROM-T）上肢			3, 4, 5	演習（グループ）、担当：古西 勇
8	関節可動域測定（ROM-T）下肢			3, 4, 5	演習（グループ）、担当：古西 勇
9	バランス検査			3, 4, 5	演習（グループ）、担当：粟生田 博子
10	臨床でのバランス検査の応用			3, 4, 5, 6	演習（グループ）、担当：粟生田 博子
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		診察と手技がみえる vol.1 第2版	編集 古谷伸之	メディックメディア	2007・6,300円
		PT・OTのための測定評価（DVD Series 1）ROM測定（第2版）	福田修、伊藤俊一、星文彦 他	三輪書店	2010・3,800円＋税
		シンプル理学療法学シリーズ 理学療法評価学テキスト	細田多穂（監修）、星文彦（編集）、 伊藤俊一（編集） 他	南江堂	2010・5,700円＋税
参考書		理学療法評価学 改訂第3版	松澤正	金原出版	2011・6,200円＋税
		ベッドサイド神経の診かた第 16版	田崎義昭 他	南山堂	2004・7,560円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
出席、毎回の提出物、実技試験、定期試験（筆記）、その他。		4月の2年次前期専門専攻科目の授業オリエンテーションで、クラス・グループとスケジュール、授業を受ける際の服装などの注意事項を説明する。打鍵器と関節角度計、いくつかの小物（安全ピン、つまようじ、筆、ゼムクリップ、メジャーなど）を自分で購入・準備してもらう。			